



高橋博幸

きらりと光る町にできるのか？

質問

観光立町宣言は自律宣言であるべきで、考える視点や手法が間違っている。

町長答弁

自律を考えたときに、観光と産業を充実強化することが一番で、観光立町宣言で誘客促進を図り、町の税収に跳ね返り、その税収を基に行政サービスをするという三段論法で考えた。

観光関連業界の方々と理念作りからやっている。

今後は下部組織に観光価値再発見の委員を募り協議し、おもてなしの気持ちを広く町民からもご理解いただき、観光客の皆様方にとって居心地の良いもの、訪れても楽しい町という印象

を持ってやるのが、最高のおもてなしと考えている。

質問

町民も課長も議員もさっぱりわからず、コンサル頼みで地に足が付いていない。観光産業についてこんな新聞記事がある。

「観光産業を立て直すには「地域づくり」がポイント。大量販売、大量送客によって壊れた地域の立て直しが不可欠。住みやすく、魅力のあるところに観光客は来る。観光客に見せたくないような、美しく住みやすい地域を作っていくことで、地域づくりは具体的に進む。」

私は「リゾートマンションの人々を活用せよ」と訴えてきたが、この人々はこの湯沢町に魅力を感じている人々だ。

こうした人々と共に地域が共存することが観光産業

の捉え方としてあって良いはず。

「町民総参加」と言うがこの手法では不可能だ。

やり方が違うので方針変換をすべきだ。

町長答弁

今までとは違った形で、町民の信頼を得るような形で、力強く宣言をしていきたい。

新年度予算に未来はない！

質問

公約にある財政規律が機能しているのか？政策形成過程の不備は正もなく、従来通りの予算ではないか。

町長答弁

なかなか事はそううまくいかない！
課長会議は補助的な機関で、連絡調整等行なう会議

である。最高意思決定権は町長にある。

質問

48億から税収がある町が、財政が苦しいのは税収の減だけではなく、使い方の問題だ。

サイフの底が見えてから切り詰めるのはダメ。

町長答弁

課長会議が経営戦略会議として機能しないのはダメ。「財政規律は機能していない」と判断する。

町長答弁

効率的にやろうということになっても、湯沢町の地



湯沢町役場

勢的な条件下においては難しい面もある。

意見

最大の原因はお金の使い方であり、アル中患者が入院を勧められても、今日だけもう一杯とせがむようなもので、家族も一緒になつて飲ませてくれと頼んでいるようなものだ。

観光立町宣言Ⅱ 湯沢町の自律宣言になれるか

一般

質問

意見